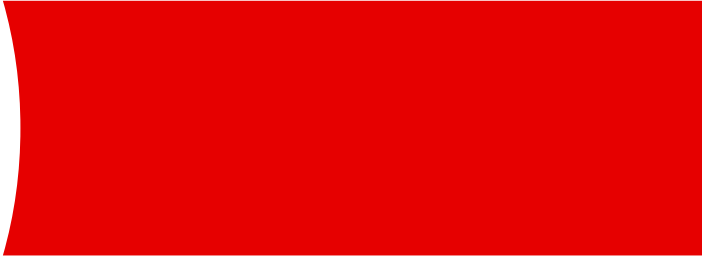


需給分析



目次

I. 将来推計人口	3
II. 急性期の需要、提供量、需給バランス	5
III. 地域における需給分析結果のサマリ	15
IV. 外来・救急の需給	17

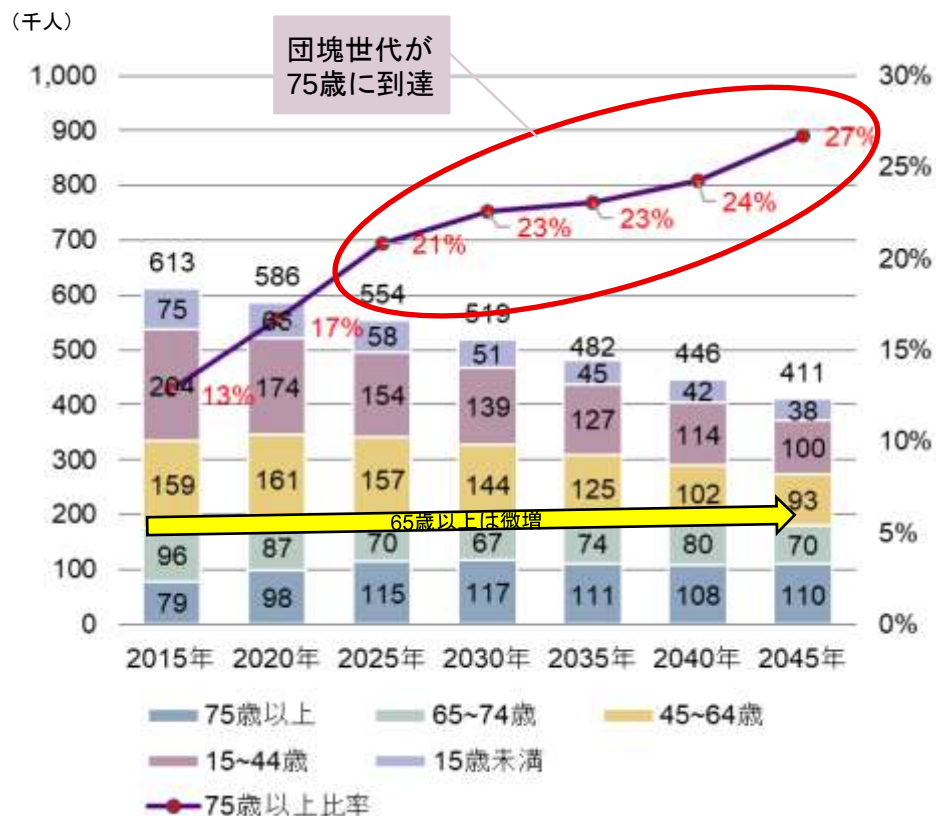
I. 将来推計人口

将来推計人口

南河内医療圏、藤井寺市・羽曳野市地域ともに、総人口は減少し、75歳以上比率は増加する見込み

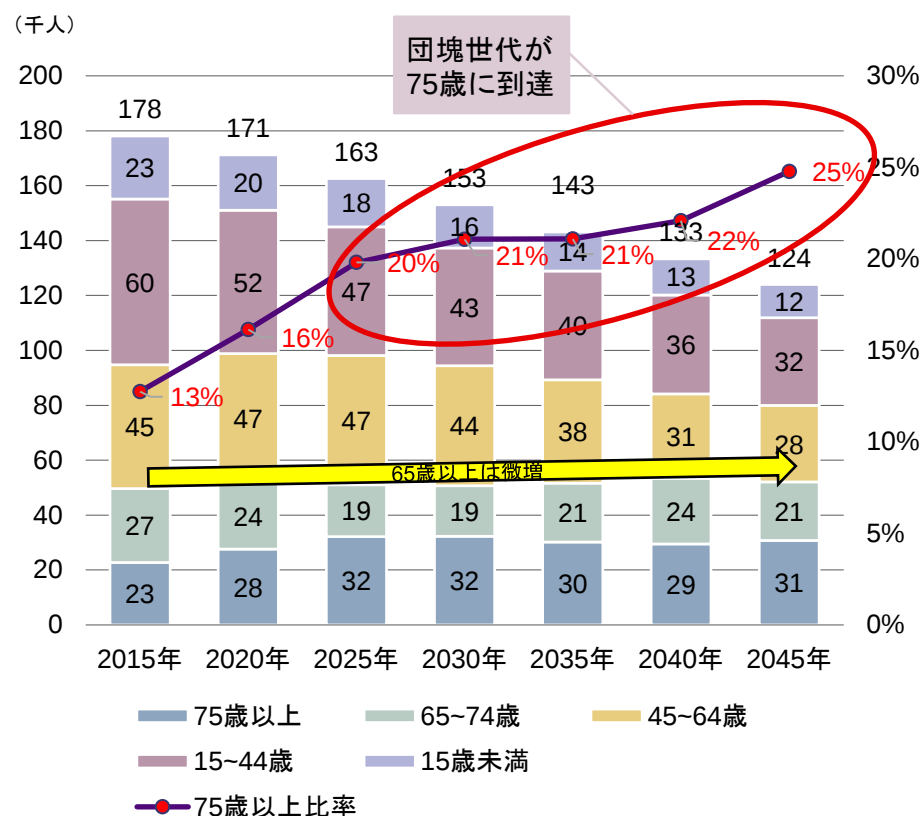
南河内医療圏の年齢層別の将来推計人口

■ 総人口は減少し、75歳以上比率が2045年度には27%まで上昇



藤井寺市・羽曳野市の年齢層別の将来推計人口

■ 総人口は減少し、75歳以上比率は2045年度に25%まで上昇



出所) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」よりMURC加工

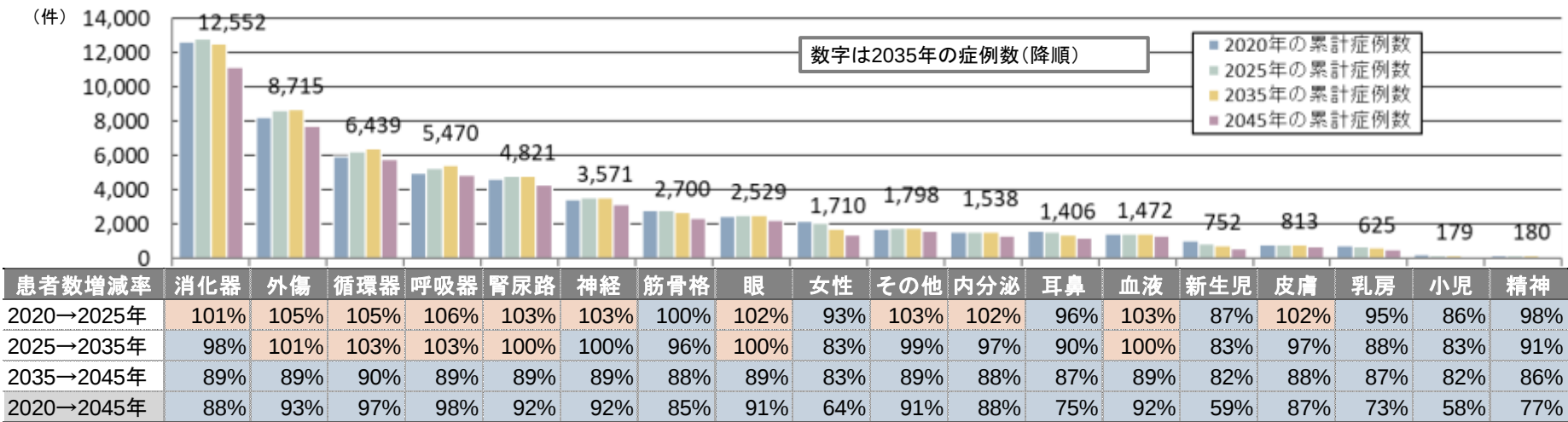
II. 急性期の需要、提供量、需給バランス

急性期の需要 ～入院患者数の将来推計(全症例)～

性年齢層別の受療率が一定として、将来推計人口を基に、疾患ごとに推計

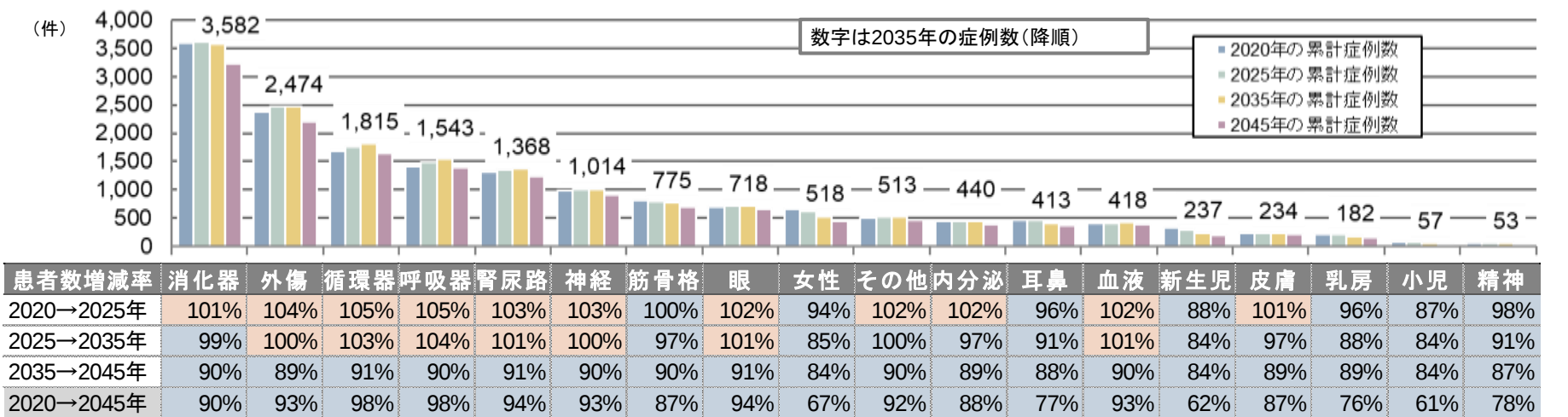
南河内医療圏

■ 消化器・神経は、2025年から減少に転じる



藤井寺市・羽曳野市

■ 消化器・外傷・循環器・呼吸器・腎尿路・神経等は、2035年まで微増した後、減少に転じる



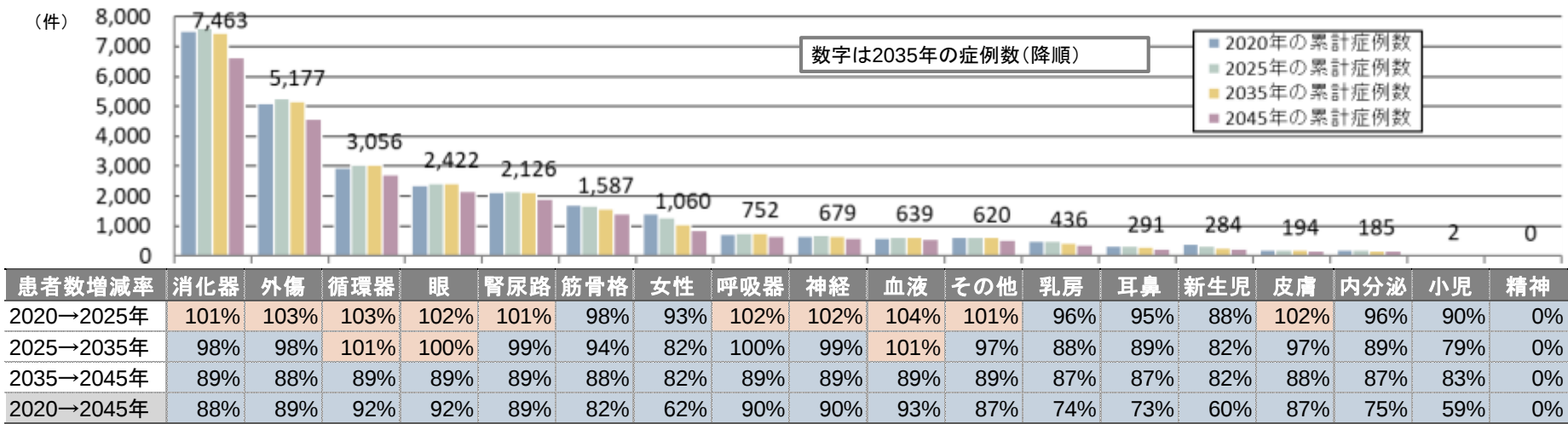
出所) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、中医協 令和2年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」よりMURC加工

急性期の需要 ～入院患者数の将来推計(手術あり症例)～

性年齢層別の受療率が一定として、将来推計人口を基に、疾患ごとに推計

南河内医療圏

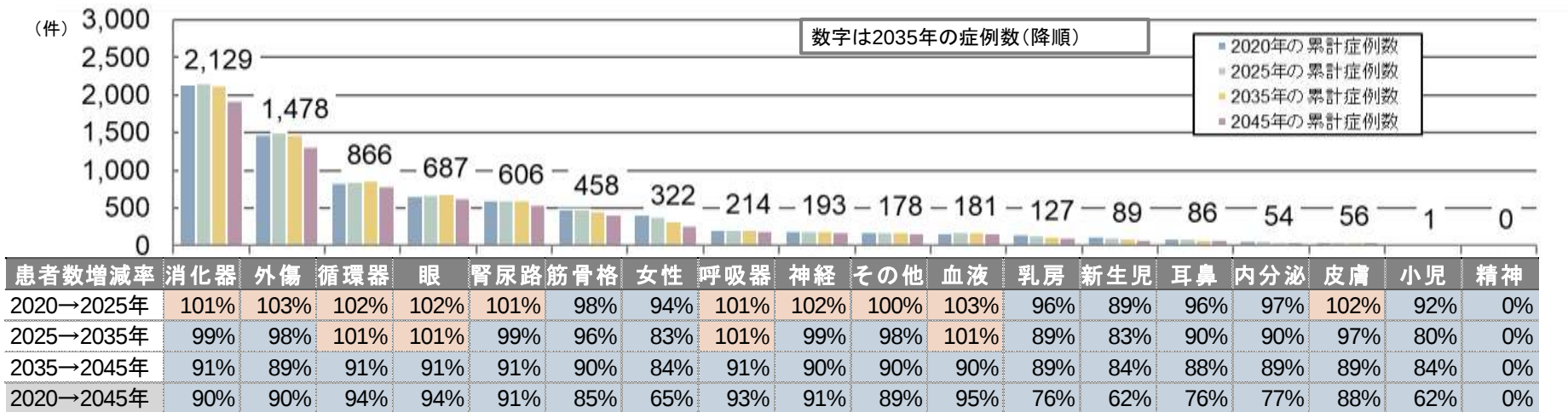
■ 消化器・外傷・腎尿路・呼吸器・神経は、2025年から減少に転じる



※ 0.5未満の推計
値が増減しており、
小児の増減率が
変動

藤井寺市・羽曳野市

■ 手術あり症例では、消化器・循環器・眼・腎尿路・筋骨格等が、2035年まで横ばいで推移した後、減少に転じる

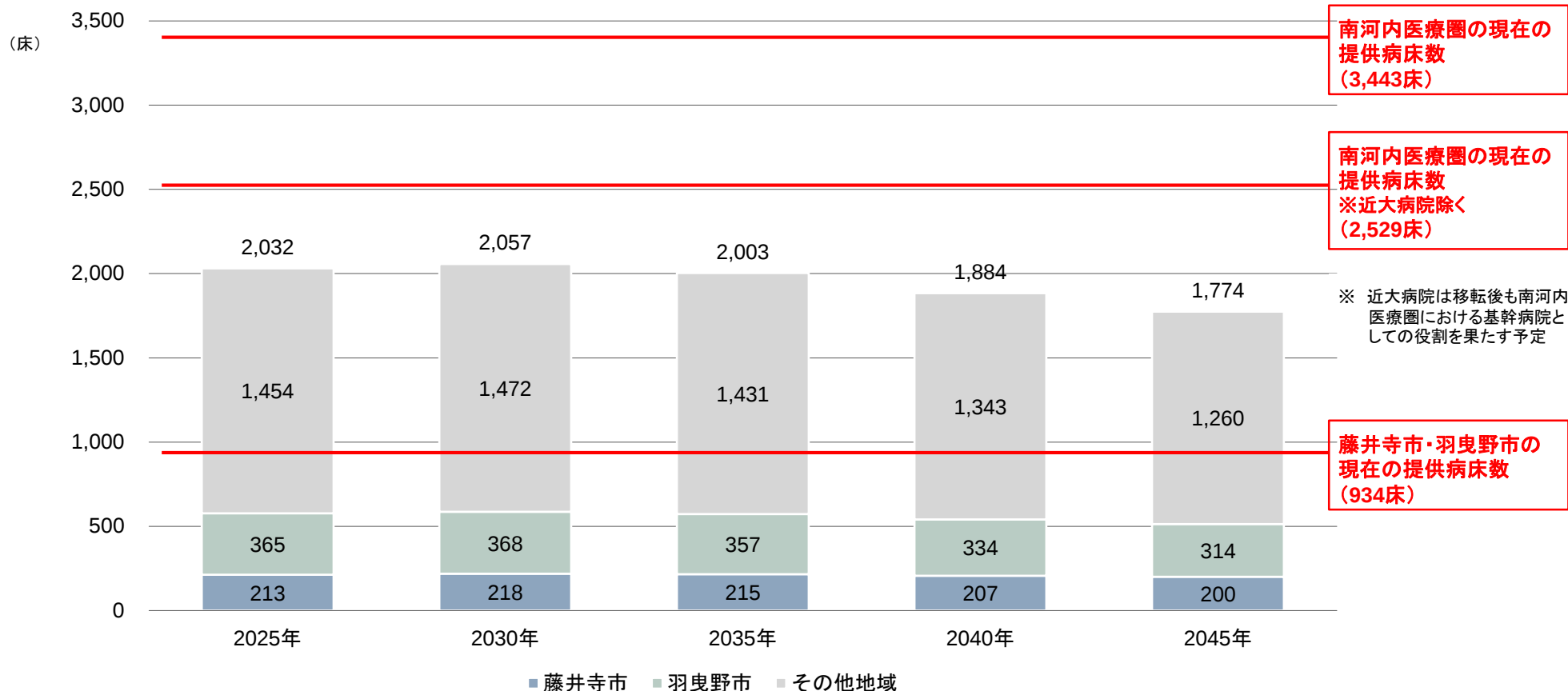


急性期の需要 ～必要病床数～

急性期の入院患者数の推計を踏まえて、平均在院日数(10日)・病床稼働率(90%)と仮定し、急性期必要病床数を推計

南河内医療圏の必要病床数

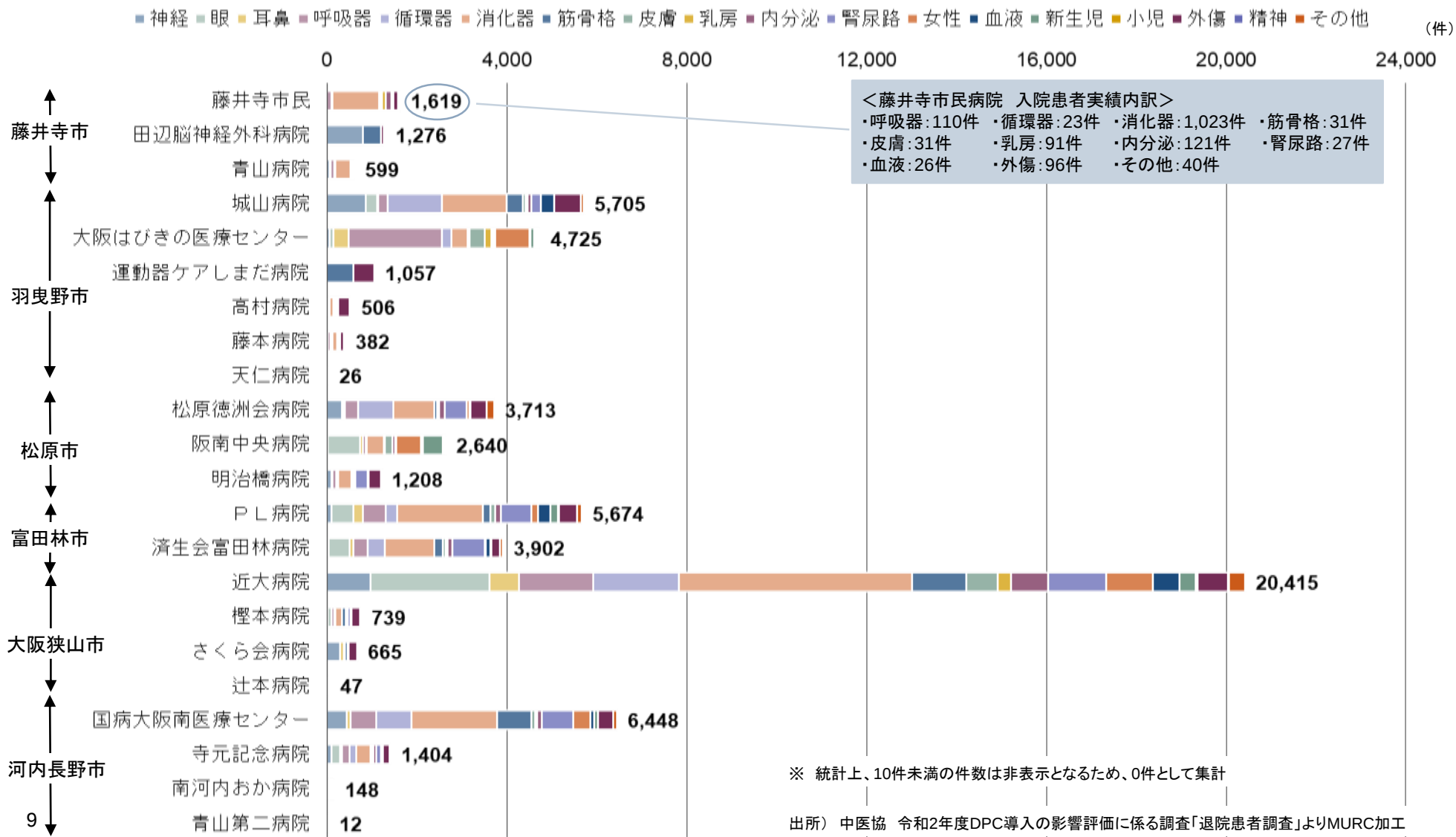
■ 2030年以降、すべての区分地域(藤井寺市・羽曳野市・その他市町村)において必要病床数が減少



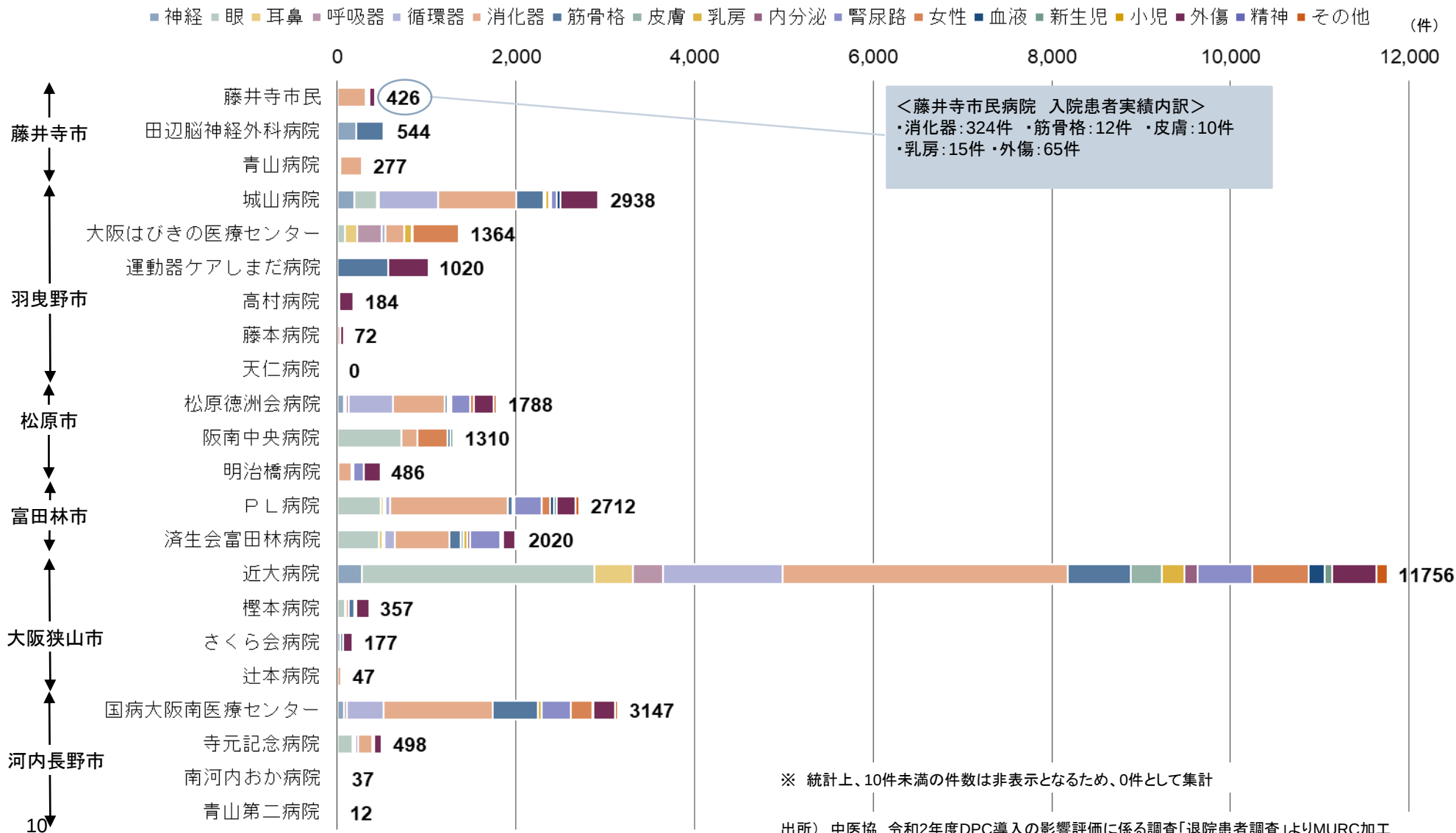
出所) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、中医協 令和2年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」よりMURC加工

急性期の提供量 ～南河内医療圏の入院患者実績(全症例)～

医療圏の中では近大病院・大阪南医療センター・城山病院・PL病院等が多い



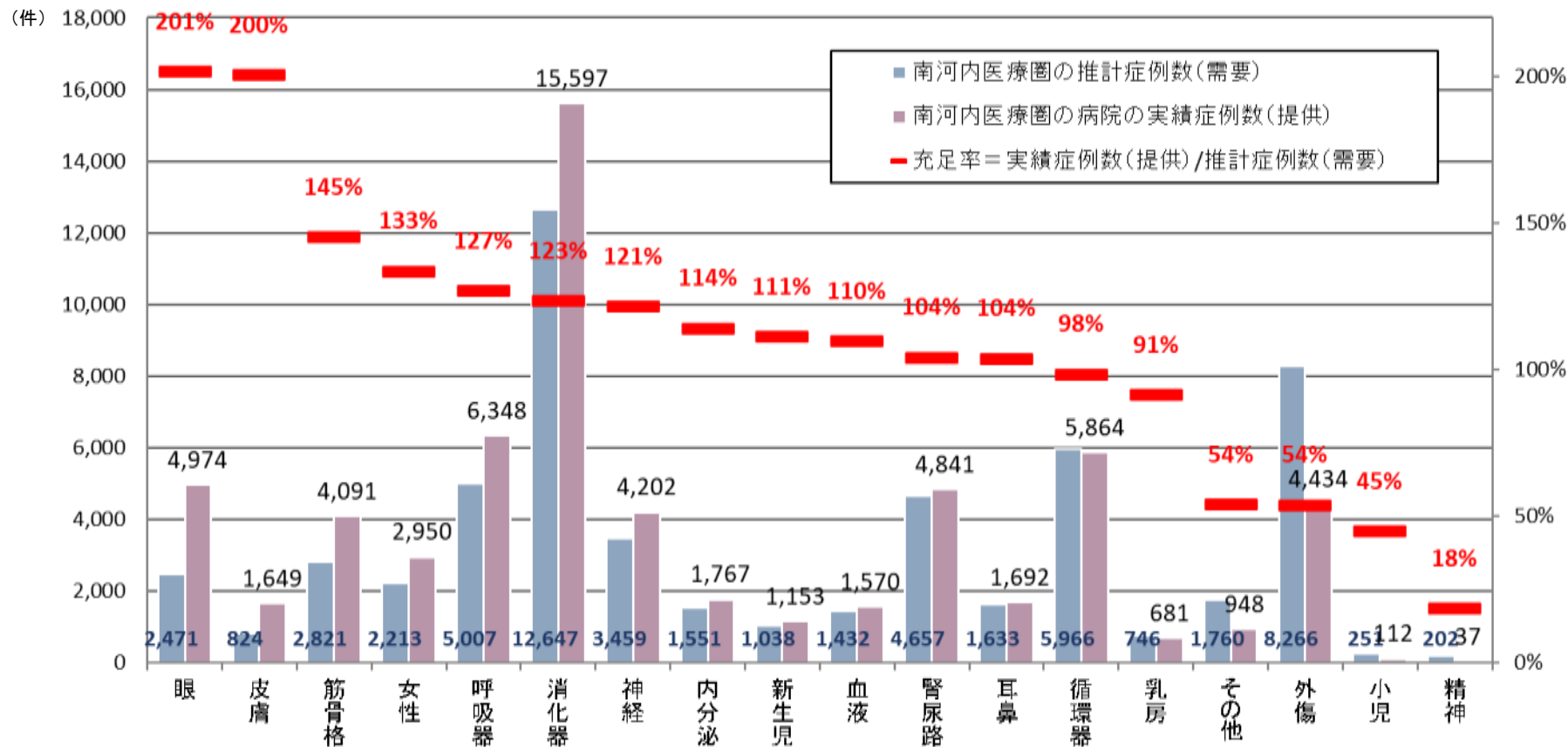
急性期の提供量 ～南河内医療圏の入院患者実績(手術あり症例)～



急性期の需給バランス ～南河内医療圏の入院患者数(2020年度、全症例)～

南河内医療圏の全症例(手術あり・なし)

- 眼・皮膚・筋骨格・女性等、多くの疾患群では需要に対して提供が多い(充足率100%以上)。
一方、その他・外傷・小児・精神では、需要よりも提供量の方が少ない(充足率100%未満)

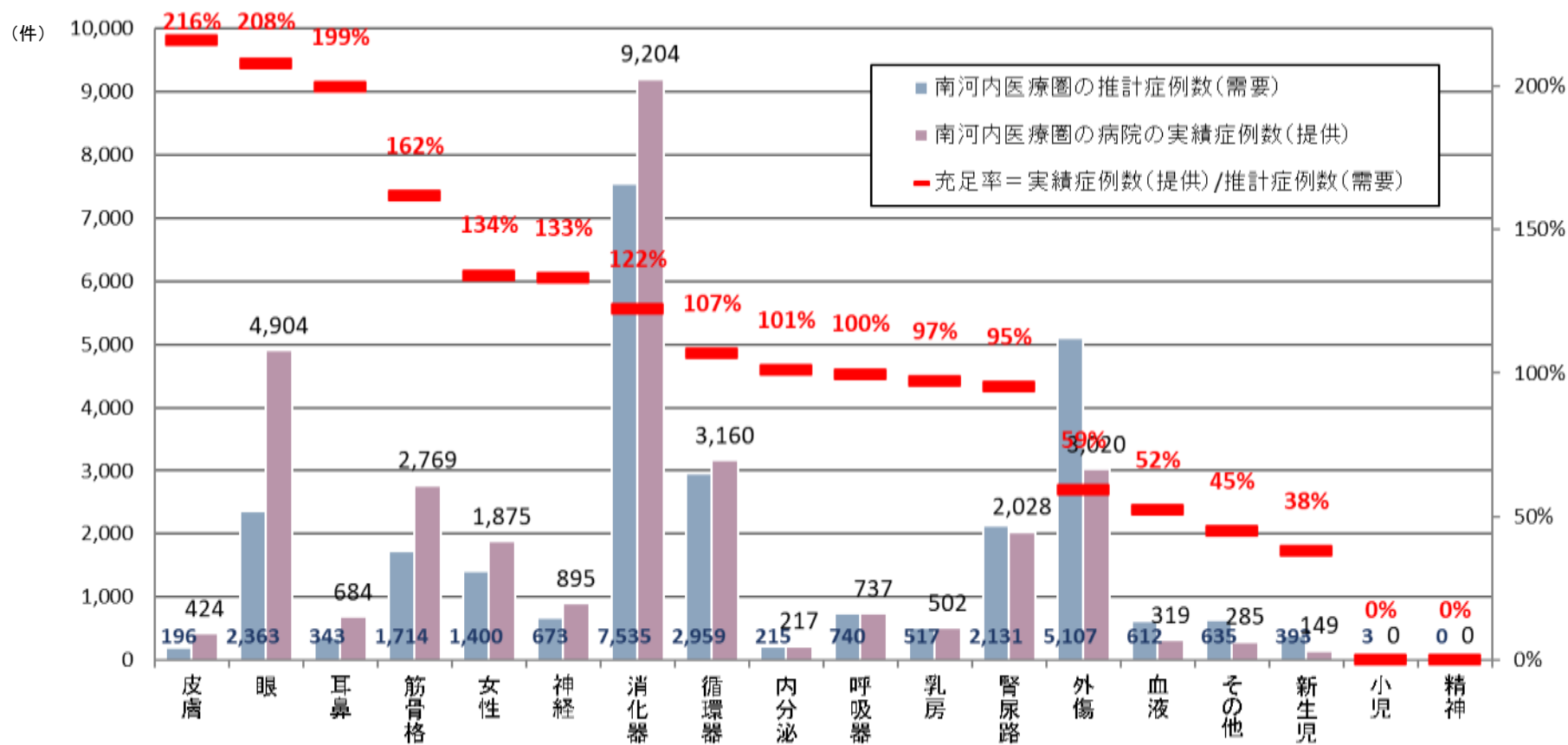


※ 充足率が100%を上回る場合、他の医療圏から患者が流入している可能性がある
充足率が100%を下回る場合、他の医療圏に患者が流出している可能性がある

急性期の需給バランス ～南河内医療圏の入院患者数(2020年度、手術あり)～

南河内医療圏の手術あり症例のみ

■ 手術あり症例では、外傷・血液・その他・新生児・小児・精神において、需要に対して供給量が不足(充足率100%未満)

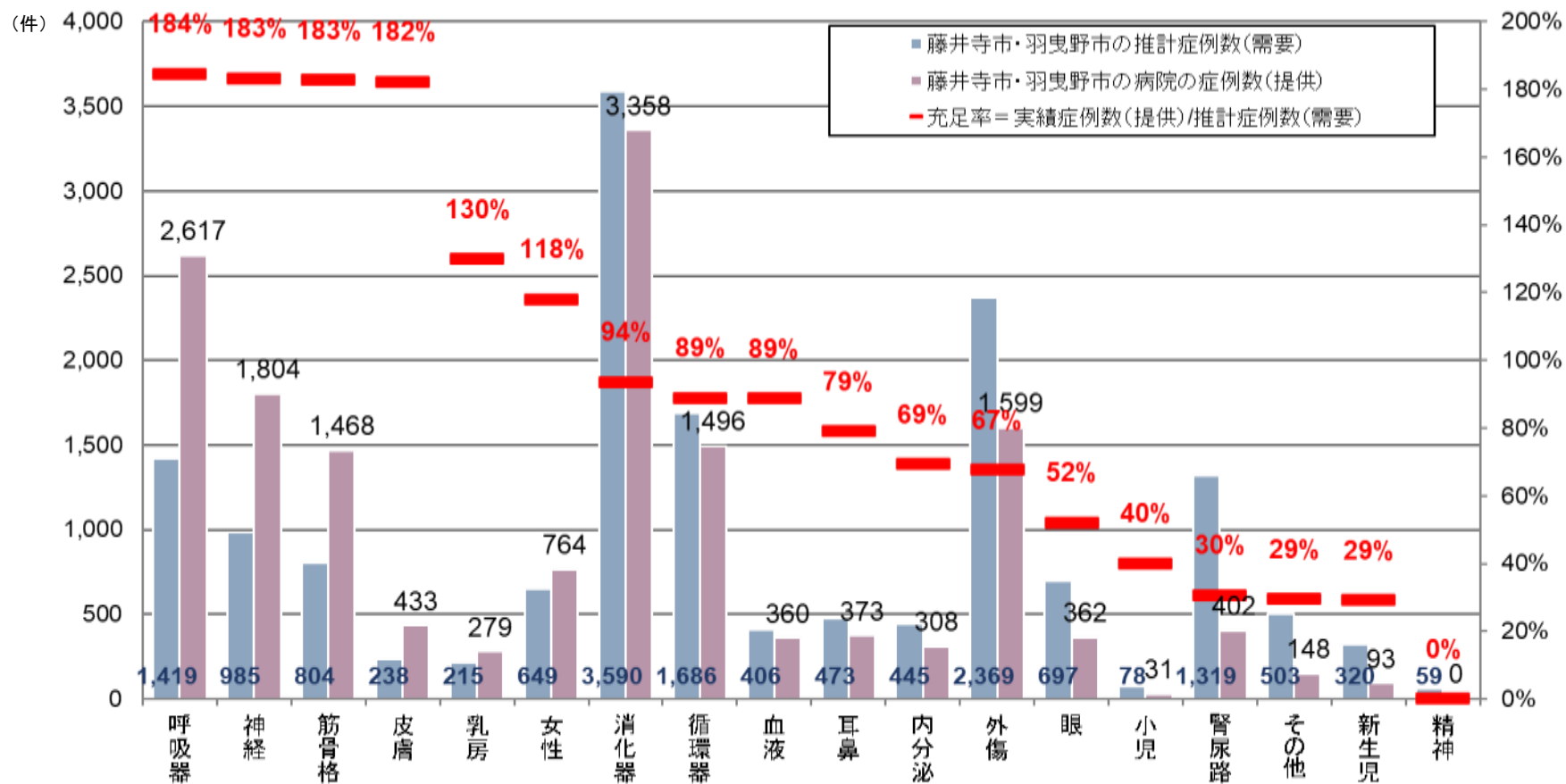


※ 充足率が100%を上回る場合、他の医療圏から患者が流入している可能性がある
 充足率が100%を下回る場合、他の医療圏に患者が流出している可能性がある

急性期の需給バランス ～藤井寺市・羽曳野市の入院患者数(2020年度、全症例)～

藤井寺市・羽曳野市の全症例(手術あり・なし)

■ 眼・小児・腎尿路・新生児・その他では需要に対して供給が不足(充足率100%未満)

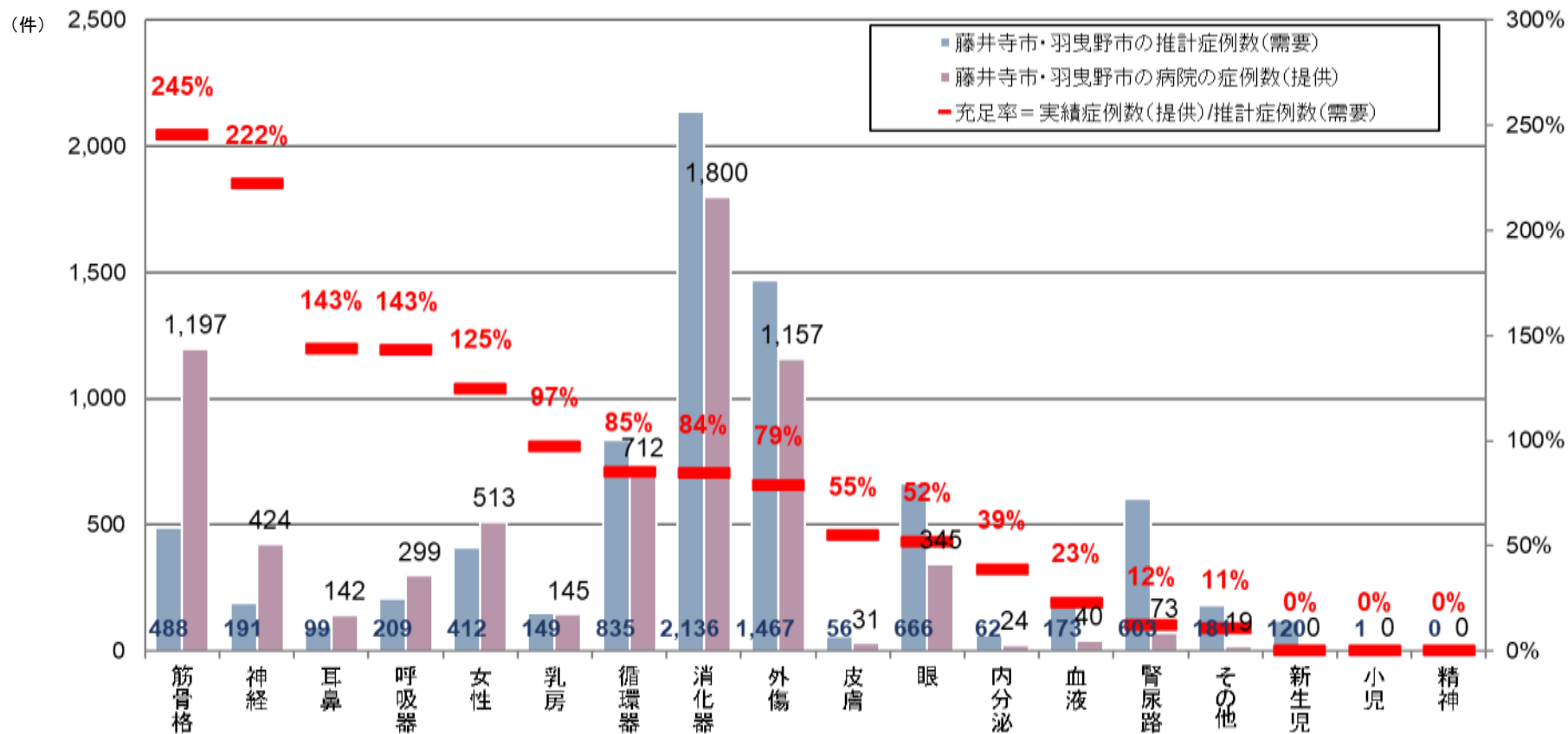


※ 充足率が100%を上回る場合、他の医療圏から患者が流入している可能性がある
 充足率が100%を下回る場合、他の医療圏に患者が流出している可能性がある

急性期の需給バランス～藤井寺市・羽曳野市の入院患者数(2020年度、手術あり)～

藤井寺市・羽曳野市の手術あり症例のみ

■ 皮膚・眼・内分泌・腎尿路・その他・新生児・小児・精神で提供量が不足(充足率100%未満)



※ 充足率が100%を上回る場合、他の医療圏から患者が流入している可能性がある
 充足率が100%を下回る場合、他の医療圏に患者が流出している可能性がある

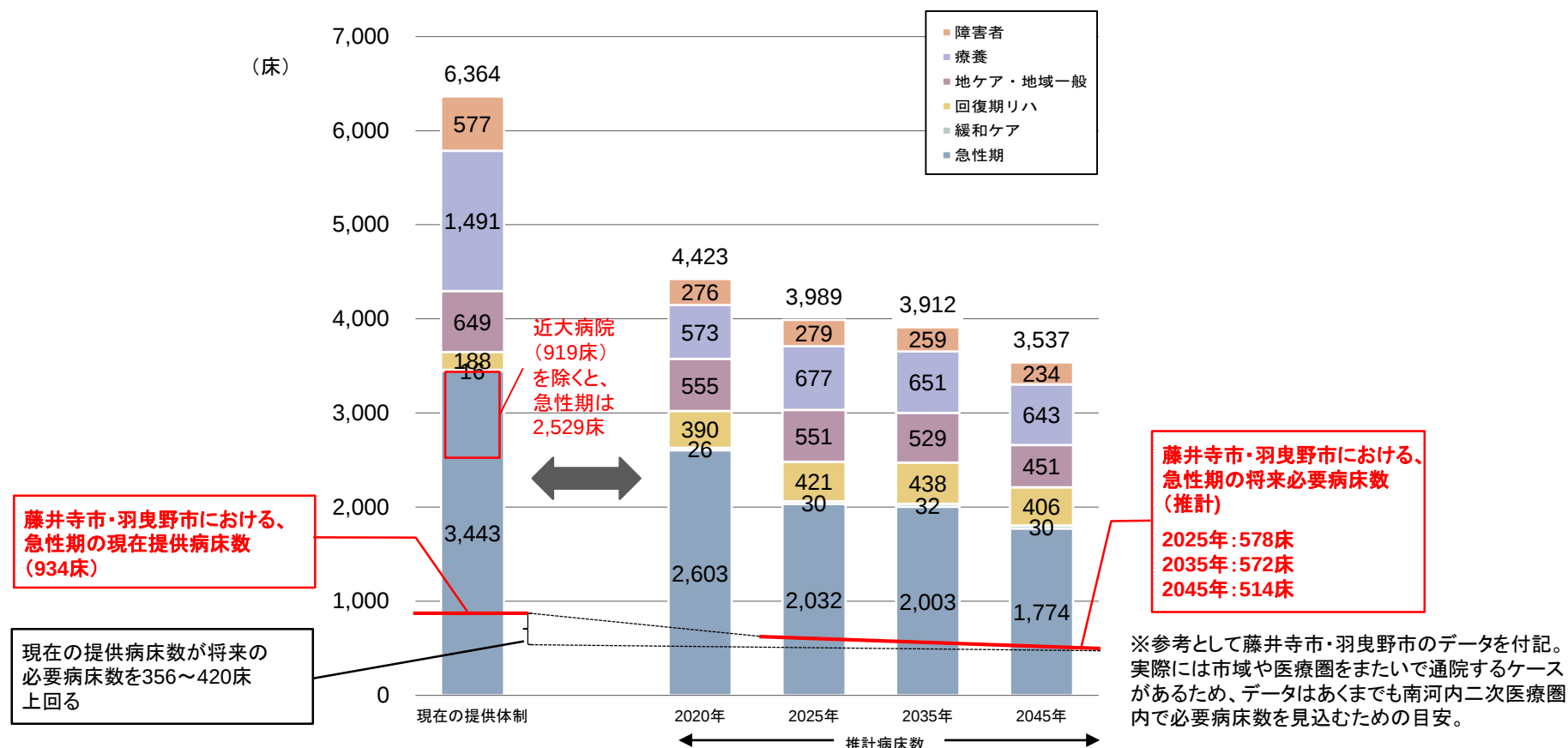
出所) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、
 中医協 令和2年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」よりMURC加工

III. 地域における需給分析結果のサマリ

地域における需給分析結果のサマリ ～南河内医療圏～

- 南河内医療圏において、近大病院を除くと急性期の提供病床数は2,529床。必要病床数は減少し続け、2045年には1,774床と推計され、供給量は充足する見込み

現在の提供体制と病床数需要推計



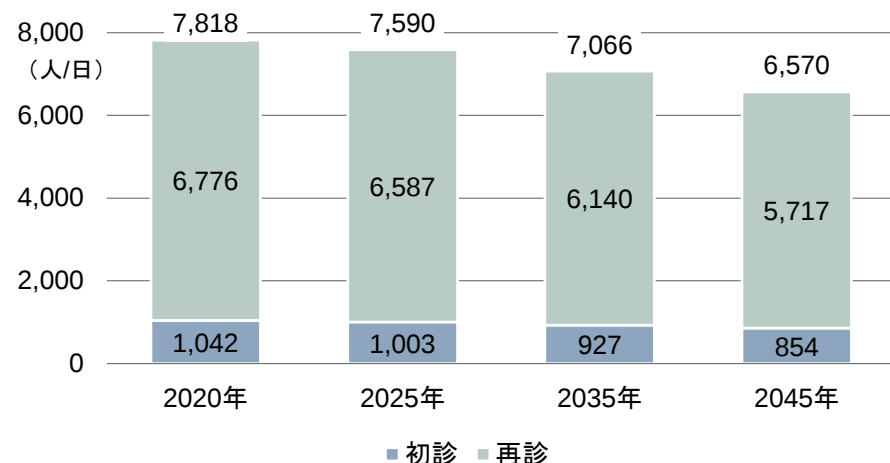
IV. 外来・救急の需給

1日あたり外来患者数推計(初診・再診別)～南河内医療圏 / 藤井寺市・羽曳野市～

- 南河内医療圏の外来患者(1日あたり)は、7,818人から6,570人に需要は減少する中、提供量は8,587人(近大病院を除くと6,616人)
- 藤井寺市・羽曳野市の外来患者(1日あたり)は、2,000人前後の需要に対して、提供量は2,220人であり、拮抗～やや充足

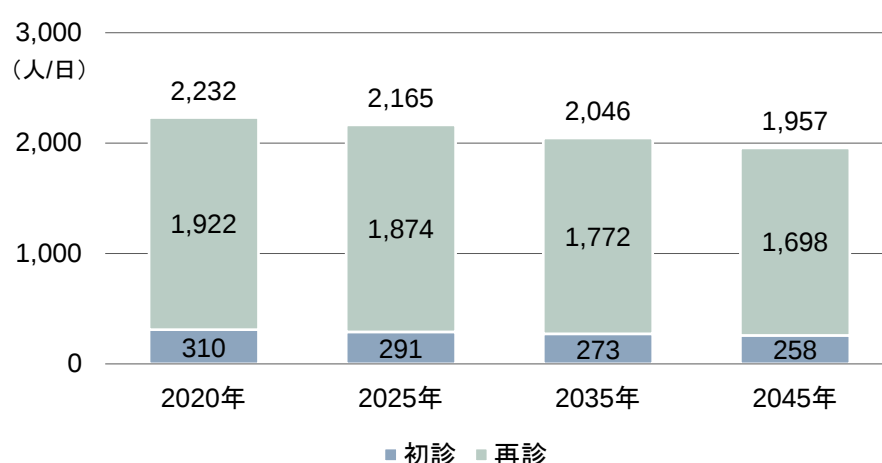
南河内医療圏の需要推計(初診・再診別)

- 2020年から45年にかけて7,818人から6,570人に減少する見込み



藤井寺市・羽曳野市の需要推計(初診・再診別)

- 2020年から45年にかけて2,232人から1,957人に減少する見込み



南河内医療圏の病院の外来患者提供実績

南河内医療圏の病院では、8,587人/日以上の実績(近大病院を除くと6,616人/日)

合計	藤井寺市民	近大病院	PL病院	国病大阪南医療センター	済生会富田林病院	大阪はびきの医療センター	城山病院	松原徳洲会病院	ほか
8,587	149	1,971	845	782	670	610	530	516	2,515

藤井寺市内・羽曳野市内の病院の外来患者提供実績

藤井寺市内・羽曳野市内の病院では、2,220人/日の提供実績

合計	藤井寺市民	青山病院	田辺脳神経外科病院	青山藤ヶ丘病院	大阪はびきの医療センター	城山病院	高村病院	藤本病院	運動器ケアしまだ病院	天仁病院
2,220	149	170	110	13	610	530	121	107	385	26

※ 富田林田中病院、榎本病院、南河内おか病院の提供実績は不明(上記に含まれていない)

外来患者数推移(ICD-10分類) ～南河内医療圏～

- 初診の1日あたり外来患者数は2020年から45年にかけて1,042人から854人に減少する見込み
- 再診の1日あたり外来患者数は2020年から45年にかけて6,776人から5,717人に減少する見込み

外来患者数推移(ICD-10分類)

ICD-10	初診 1日あたり外来患者数				推計症例数の増減率			再診 1日あたり外来患者数				推計症例数の増減率		
	2020年	2025年	2035年	2045年	2020→ 2025年	2025→ 2035年	2035→ 2045年	2020年	2025年	2035年	2045年	2020→ 2025年	2025→ 2035年	2035→ 2045年
I 感染症及び寄生虫症	34	32	30	27	95.8%	91.9%	91.0%	140	136	126	117	97.0%	93.0%	92.7%
II 新生物＜腫瘍＞	118	113	105	98	96.2%	93.1%	92.7%	875	844	788	735	96.5%	93.3%	93.3%
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	4	4	3	3	94.5%	88.8%	95.7%	46	44	41	38	96.4%	92.7%	92.5%
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	31	30	28	25	96.6%	93.1%	91.4%	556	539	506	468	97.0%	93.7%	92.7%
V 精神及び行動の障害	23	22	20	18	96.4%	91.5%	92.2%	463	445	408	373	96.0%	91.8%	91.3%
VI 神経系の疾患	26	25	23	22	97.3%	92.6%	93.3%	290	285	266	249	98.2%	93.2%	93.5%
VII 眼及び付属器の疾患	41	40	37	35	96.4%	92.8%	93.5%	267	261	244	230	97.6%	93.5%	94.2%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	14	13	12	11	96.2%	92.4%	93.5%	54	52	48	45	96.6%	93.2%	92.7%
IX 循環器系の疾患	76	74	69	65	97.4%	93.7%	93.6%	1,003	989	933	878	98.6%	94.3%	94.1%
X 呼吸器系の疾患	99	95	86	78	95.4%	91.1%	90.7%	274	263	243	226	96.2%	92.4%	93.0%
X I 消化器系の疾患	103	98	91	84	96.0%	92.3%	92.1%	527	510	474	440	96.8%	92.9%	92.8%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	35	34	31	29	95.9%	92.3%	92.2%	177	171	159	147	96.6%	93.0%	92.5%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	98	95	88	81	96.8%	92.4%	92.6%	814	796	741	698	97.8%	93.1%	94.2%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	56	54	50	46	96.1%	92.3%	92.2%	509	494	461	430	97.0%	93.3%	93.3%
X V 妊娠、分娩及び産じょく	4	4	4	3	98.0%	93.3%	85.6%	26	26	24	21	98.4%	93.7%	85.2%
X VI 周産期に発生した病態	1	1	1	1	93.4%	91.7%	90.5%	9	8	8	7	93.5%	91.4%	90.7%
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	4	3	3	3	93.6%	91.4%	90.8%	39	36	33	30	94.0%	90.6%	91.1%
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	56	54	50	46	96.8%	92.6%	92.0%	119	115	107	100	96.9%	92.8%	93.0%
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	86	83	76	70	96.5%	91.9%	92.0%	351	340	315	291	97.0%	92.7%	92.3%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	135	129	119	109	95.7%	92.4%	91.2%	238	232	215	196	97.6%	92.8%	91.0%
	1,042	1,003	927	854	96.3%	92.4%	92.1%	6,776	6,587	6,140	5,717	97.2%	93.2%	93.1%

外来患者数推移(ICD-10分類) ～藤井寺市・羽曳野市～

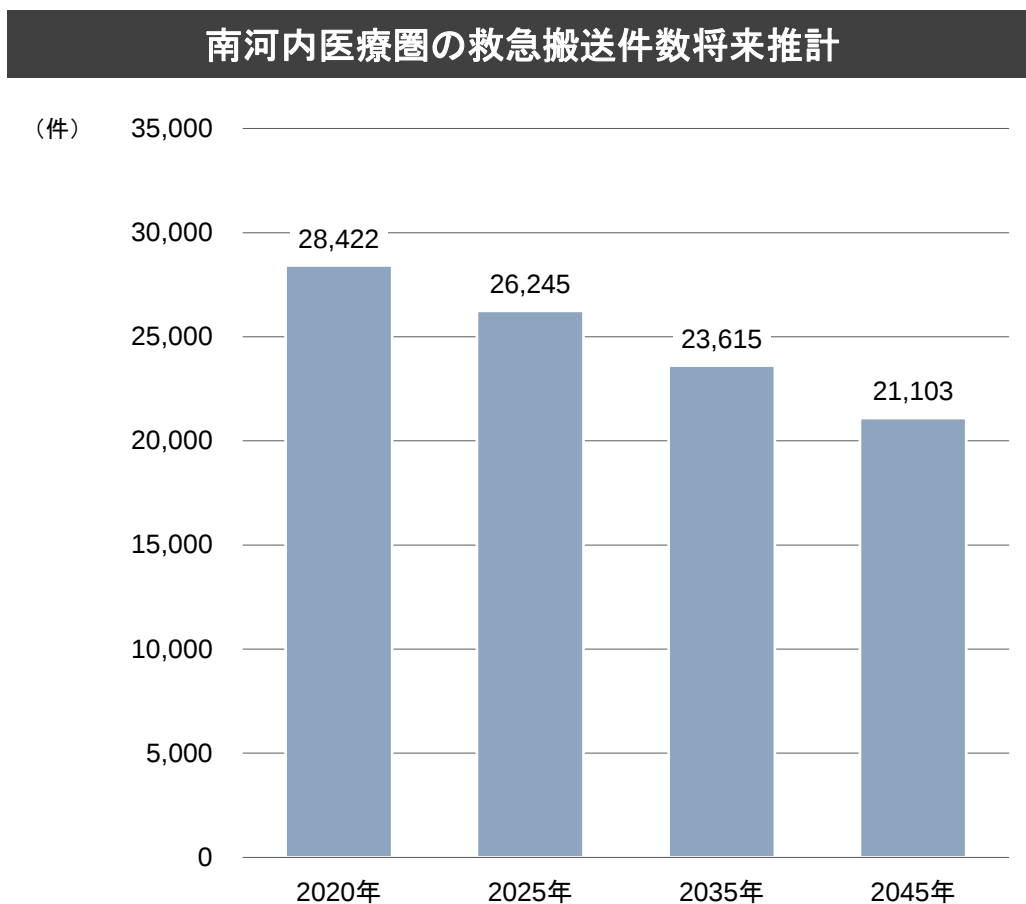
- 初診の1日あたり外来患者数は2020年から45年にかけて310人から258人に減少する見込み
- 再診の1日あたり外来患者数は2020年から45年にかけて1,922人から1,698人に減少する見込み

外来患者数推移(ICD-10分類)

ICD-10	初診 1日あたり外来患者数				推計症例数の増減率			再診 1日あたり外来患者数				推計症例数の増減率		
	2020年	2025年	2035年	2045年	2020→ 2025年	2025→ 2035年	2035→ 2045年	2020年	2025年	2035年	2045年	2020→ 2025年	2025→ 2035年	2035→ 2045年
I 感染症及び寄生虫症	10	9	9	8	91.0%	93.6%	93.2%	40	39	37	35	96.3%	94.5%	95.5%
II 新生物＜腫瘍＞	34	32	31	29	95.1%	94.8%	95.6%	246	238	226	218	96.8%	95.1%	96.4%
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	1	1	1	1	93.6%	88.7%	99.2%	14	13	12	11	93.8%	94.1%	95.0%
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	9	9	8	8	93.7%	95.2%	94.0%	158	153	146	139	96.6%	95.5%	95.4%
V 精神及び行動の障害	7	6	6	6	93.7%	92.6%	94.3%	143	130	122	114	91.5%	93.5%	93.3%
VI 神経系の疾患	7	7	7	6	98.1%	93.4%	95.8%	81	81	76	73	100.2%	93.9%	95.9%
VII 眼及び付属器の疾患	12	11	11	10	96.1%	94.3%	96.5%	73	73	69	68	100.5%	94.5%	97.5%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	4	4	4	3	95.2%	93.0%	96.6%	16	15	14	13	95.7%	94.7%	95.5%
IX 循環器系の疾患	21	21	20	19	99.2%	95.0%	96.5%	268	277	263	255	103.3%	95.2%	96.8%
X 呼吸器系の疾患	32	28	26	24	89.7%	92.9%	92.7%	81	76	71	68	94.4%	93.7%	95.7%
X I 消化器系の疾患	30	28	27	25	94.1%	94.1%	94.7%	151	145	137	131	96.2%	94.5%	95.5%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	11	10	9	9	93.2%	93.6%	94.6%	51	49	46	44	95.6%	94.4%	95.0%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	29	27	26	24	95.5%	93.9%	95.2%	223	225	211	206	100.9%	94.0%	97.3%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	17	16	15	14	93.6%	94.0%	94.7%	144	140	132	127	97.3%	94.8%	96.0%
X V 妊娠、分娩及び産じょく	1	1	1	1	84.4%	97.4%	87.6%	9	8	8	7	84.1%	98.1%	87.1%
X VI 周産期に発生した病態	0	0	0	0	85.7%	92.8%	92.8%	3	3	2	2	85.3%	92.6%	92.9%
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	1	1	1	1	85.1%	92.6%	92.9%	13	11	10	9	86.5%	92.2%	93.1%
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16	16	15	14	94.8%	94.1%	94.4%	34	33	31	30	96.3%	94.0%	95.6%
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	26	24	23	21	94.3%	92.9%	94.0%	102	98	92	87	95.8%	93.9%	94.6%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	41	38	36	33	91.3%	94.4%	93.6%	72	68	64	60	93.8%	94.9%	93.2%
	310	291	273	258	93.8%	94.0%	94.6%	1,922	1,874	1,772	1,698	97.5%	94.6%	95.8%

救急搬送件数の将来推計 ～南河内医療圏～

- 南河内医療圏の救急搬送件数は2020年から45年にかけて28,422件から21,103件に減少する見込み

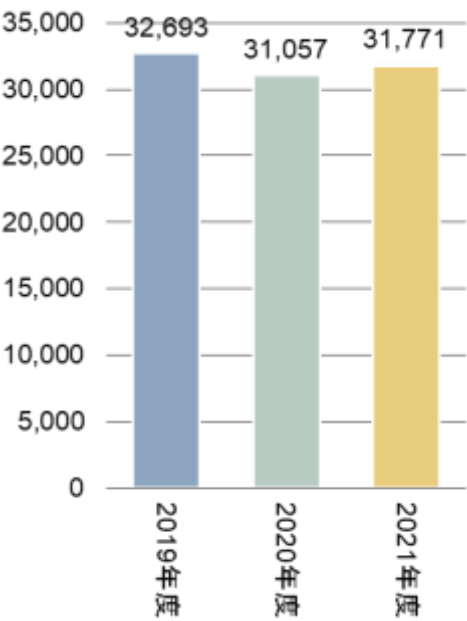


※ 各消防年報による各地域の救急搬送患者の年齢層別人口を、該当地域の将来推計人口（年齢層別）に比例させて推計

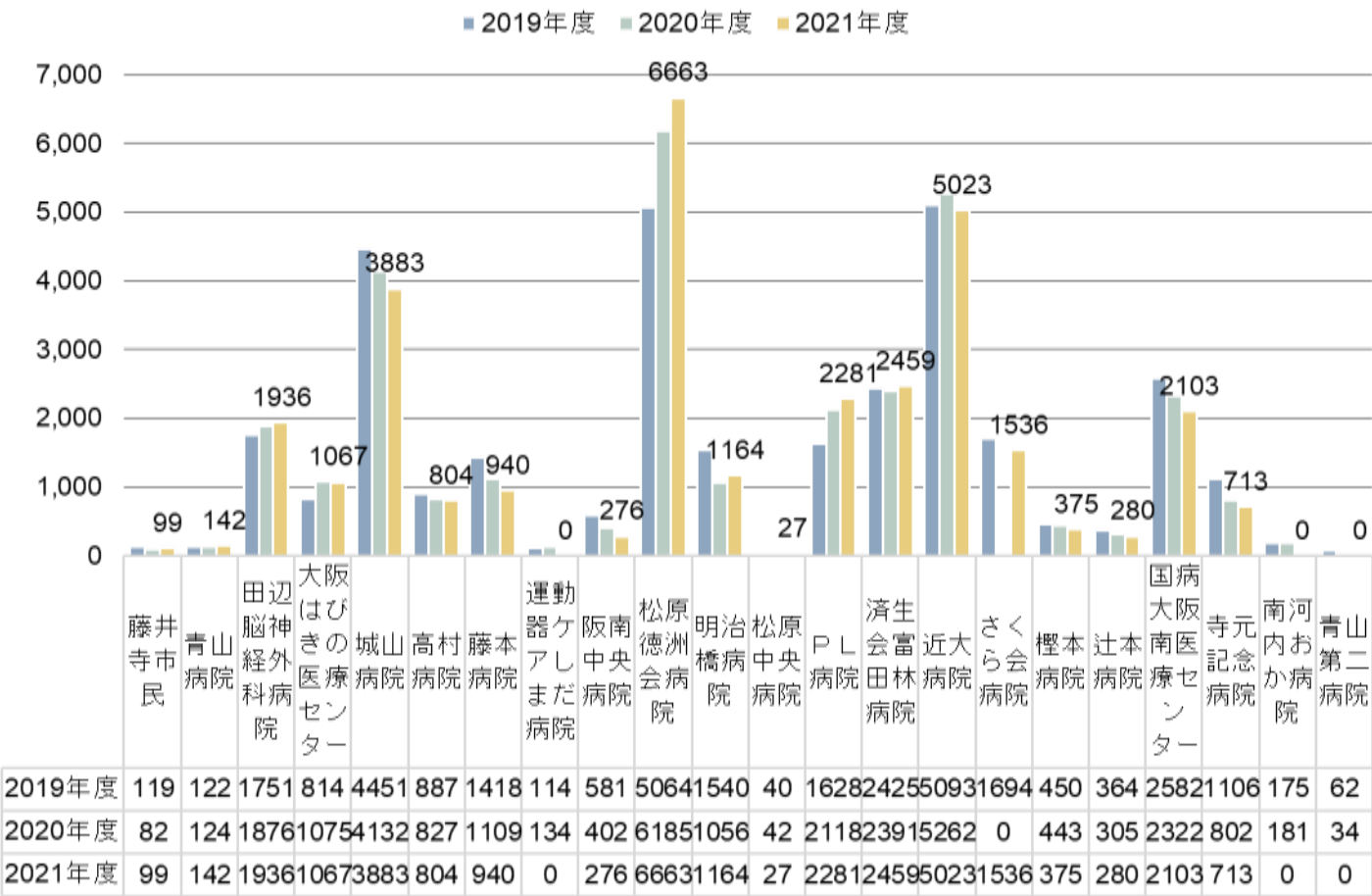
救急搬送件数 ～南河内医療圏～

南河内医療圏において、30,000件強で推移する中、藤井寺市民病院は100件前後で推移

救急搬送件数の推移



病院別の救急搬送件数の推移



※ 藤井寺市民病院は救急告示病院ではない

※ 0件となっている箇所は、未報告(件数不明)
上記の病院には、救急告示でない病院も含む